

会社法Ⅱ 期末試験

<注意事項>

- 学生IDのマークの際には、次の点に注意すること。
 - ・学生IDのマークの数字は、ゼロから始まる。IDの0と1を間違えてマークする学生が多いので、注意すること。
 - ・学生IDが8桁の学生は、下2桁は*をマークすること。
- マークは必ず鉛筆で行うこと。ペンでマークしたものは読取りができない。

I. 次の問いに答えよ。

〔第1問〕（配点：5点）

株式の内容に関連する次のア) からウ) までの各記述のうち、正しいものだけをすべて挙げたものは、後記1から6までのうちどれか。なお、ア) イ) ウ) それぞれの記述は独立しているものとせよ。（解答番号1の解答マーク欄にマークせよ）

- ア) 非公開会社は、株主総会または取締役会において決議すべき事項のうち、当該決議のほか、ある種類の株式の種類株主を構成員とする種類株主総会の決議があることを必要とする種類株式を、発行することができない。
- イ) 優先株とは、一般に、会社が剰余金の配当をする場合に、他の種類の株式に先んじて配当を受けられる株式をいう。
- ウ) 非公開会社は、剰余金の配当を受ける権利や、株主総会における議決権について、株主ごとに異なる取扱いを行う旨を定款で定めることができる。

1. ア 2. イ 3. ウ 4. アイ 5. イウ 6. アウ

〔第2問〕（配点：5点）

株式の譲渡制限に関連する次のア) からウ) までの各記述のうち、正しいものだけをすべて挙げたものは、後記1から6までのうちどれか。なお、ア) イ) ウ) それぞれの記述は独立しているものとせよ。（解答番号2の解答マーク欄にマークせよ）

- ア) 会社は、複数の種類の株式を発行する場合に、その一部の種類の株式だけを、譲渡による当該株式の取得について当該会社の承認を要するものとするができる。
- イ) 会社と株主の間の個別の契約によって株式の譲渡を制限する場合、そのような制限は、第三者に対しても効力を有する。
- ウ) 従業員持株制度において、同制度の下で従業員が一定の価格で購入した自社の株式について、退職時に購入価格と同額で取締役会の指定する者に譲渡する旨が合意されることがある。判例によれば、このような合意は公序良俗に反するものであり、無効である。

1. ア 2. イ 3. ウ 4. アイ 5. イウ 6. アウ

〔第3問〕（配点：5点）

譲渡制限株式の譲渡に関連する次の文章の空欄ア～ウに当てはまる語句の組み合わせとして最も適切なものは、後記1から6までのうちどれか。（解答番号3の解答マーク欄にマークせよ）

判例によれば、会社の承認を得ずになされた譲渡制限株式の譲渡は、譲渡当事者間においては（ア）であり、会社に対する関係では（イ）である。また、そのような譲渡が行われた場合、会社は、（ウ）。

- 1. ア＝有効 イ＝無効 ウ＝譲渡人を株主として取り扱う義務がある
- 2. ア＝有効 イ＝有効 ウ＝譲受人を株主として取り扱うことができる
- 3. ア＝有効 イ＝無効 ウ＝譲受人を株主として取り扱うことができる
- 4. ア＝無効 イ＝有効 ウ＝譲受人を株主として取り扱うことができる
- 5. ア＝無効 イ＝無効 ウ＝譲渡人を株主として取り扱う義務がある
- 6. ア＝無効 イ＝有効 ウ＝譲渡人を株主として取り扱う義務がある

〔第4問〕（配点：5点）

株式の譲渡の方法に関連する次のア) からウ) までの各記述のうち、正しいものだけをすべて挙げたものは、後記1から6までのうちどれか。なお、ア) イ) ウ) それぞれの記述は独立しているものとせよ。（解答番号4の解答マーク欄にマークせよ）

- ア) 株券が発行されておらず、振替株式でもない株式の譲渡は、株主名簿の名義書換えをしなければ、会社その他の第三者に対抗することができない。
- イ) 株券発行会社の株式は、当事者の合意だけで譲渡することができるが、これを会社その他の第三者に対抗するには、株主名簿の名義書換えを要する。
- ウ) 判例によれば、株券の作成後株主に対して郵送されたが、郵送途上で当該株券が盗取され、善意・無重過失の者に譲渡された場合、当該譲受人は当該株券に係る株式を善意取得することはない。

1. ア 2. イ 3. ウ 4. アイ 5. イウ 6. アウ

〔第5問〕（配点：5点）

株主名簿の名義書換えに関連する次のア) からウ) までの各記述のうち、正しいものだけをすべて挙げたものは、後記1から6までのうちどれか。なお、ア) イ) ウ) それぞれの記述は独立しているものとせよ。（解答番号5の解答マーク欄にマークせよ）

- ア) 株券発行会社の株式を譲渡した場合の名義書換えの請求は、株式取得者が株券を提示し、名簿上の株主またはその一般承継人と共同でしなければならない。
- イ) 判例によれば、株券発行会社の株式が譲渡されたが名義書換えは未了である場合に、会社は譲受人を株主と取り扱うことができる。
- ウ) 判例によれば、正当な事由なくして名義書換えを拒絶した会社は、譲受人を株主として取り扱うことを要するのであり、株主名簿上に株主として記載されている譲渡人を株主として取り扱うことはできない。

1. ア 2. イ 3. ウ 4. アイ 5. イウ 6. アウ

〔第6問〕（配点：5点）

株式の共有に関する会社法 106 条は、「株式が二以上の者の共有に属するときは、共有者は、当該株式についての権利を行使する者一人を定め、株式会社に対し、その者の氏名又は名称を通知しなければ、当該株式についての権利を行使することができない。ただし、株式会社が当該権利を行使することに同意した場合は、この限りでない。」と定める。同条や、株式の相続に関連する次のア) からウ) までの各記述のうち、正しいものだけをすべて挙げたものは、後記 1 から 6 までのうちどれか。なお、ア) イ) ウ) それぞれの記述は独立しているものとせよ。（解答番号 6 の解答マーク欄にマークせよ）

ア) 譲渡制限株式を相続するためには、会社の承認を要しない。

イ) 判例によれば、会社法 106 条本文にいう「当該株式についての権利を行使する者」は、共有者の全員の同意によって定めなければならない。

ウ) 判例によれば、会社法 106 条但書にいう「同意」を会社がした場合、共有株式についての権利の行使について、民法の共有に関する規定の適用が排除される。

1. ア 2. イ 3. ウ 4. アイ 5. イウ 6. アウ

Ⅱ. 次の文章を読み、問いに答えよ。

会社法は、募集株式の発行について、様々なルールを定める。たとえば、次の事例を考えよう。

事例：甲会社は、PおよびQの2人からなる株式会社である。甲会社の発行済株式総数は20株であり、PおよびQはそのうち10株ずつを保有している。甲会社株式の価格は1株あたり100万円である。この甲会社が、10株を新たに発行する。

- ① 1株あたりの払込金額を100万円として、発行される10株すべてがR（PおよびQとは別人であるとする）に割り当てられる場合
- ② 1株あたりの払込金額を40万円として、発行される10株すべてがPに割り当てられる場合
- ③ 1株あたりの払込金額を40万円として、発行される10株のうち5株についてP、残り5株についてQに、割当てを受ける権利が与えられる場合

事例の①から③までのうち、株主割当てにあたるのは（ア）である。また、甲会社が公開会社である場合に、募集事項の決定が株主総会の特別決議によらなければならないのは（イ）である。事例の②および③の場合、募集株式の発行が行われた後で、甲会社株式の価格は（ウ）になる。

募集株式の発行についての会社法や判例のルールは、（A）公開会社の場合と（B）非公開会社の場合で異なることが多い。株主が（C）募集株式の発行について争う方法にも、様々なものがある。

〔第7問〕（配点：5点）

空欄アに当てはまるものは、後記1から6までのうちどれか。（解答番号7の解答マーク欄にマークせよ）

1. ① 2. ② 3. ③ 4. ①② 5. ②③ 6. ①③

〔第8問〕（配点：5点）

空欄イに当てはまるものは、後記1から6までのうちどれか。（解答番号8の解答マーク欄にマークせよ）

1. ① 2. ② 3. ③ 4. ①② 5. ②③ 6. ①③

〔第9問〕（配点：5点）

空欄ウに当てはまる最も適切な金額は、後記1から6までのうちどれか。計算の際には、募集株式の発行によって調達された資金を甲会社が用いることで今後生じる利益の額などは考慮に入れなくともよい。（解答番号9の解答マーク欄にマークせよ）

1. 40万円 2. 70万円 3. 80万円
4. 100万円 5. 120万円 6. 140万円

〔第10問〕（配点：5点）

下線部（A）に関連する次のア）からウ）までの各記述のうち、正しいものだけをすべて挙げたものは、後記1から6までのうちどれか。なお、ア）イ）ウ）それぞれの記述は独立しているものとせよ。（解答番号10の解答マーク欄にマークせよ）

- ア）公開会社において、発行済株式総数は、発行可能株式総数の4分の1以内でなければならない。
- イ）公開会社は、募集株式の引受人が当該会社の総株主の議決権の過半数を有することになる場合、原則として、所定の事項を株主に通知または公告し、総株主の議決権の10の1以上の議決権を有する株主が所定の期間内にそのような引受けに反対する旨を当該会社に対して通知したときは、所定の期日までに株主総会の決議による承認を受けなければならない。
- ウ）判例によれば、公開会社において、募集株式の発行のための取締役会決議を欠くことは、募集株式の発行の無効原因になる。

1. ア 2. イ 3. ウ 4. アイ 5. イウ 6. アウ

〔第11問〕（配点：5点）

下線部（B）に関連する次のア）からウ）までの各記述のうち、正しいものだけをすべて挙げたものは、後記1から6までのうちどれか。なお、ア）イ）ウ）それぞれの記述は独立しているものとせよ。（解答番号11の解答マーク欄にマークせよ）

- ア）非公開会社において、株主割当てによる募集株式の発行をする場合、募集事項は原則として取締役会の決議によって定めなければならない。
- イ）判例によれば、非公開会社において、株主総会の特別決議を経ないまま株主割当て以外の方法による募集株式の発行がされた場合、この瑕疵は募集株式の発行の無効原因になる。
- ウ）判例によれば、非公開会社において、著しく不公正な方法により募集株式の発行が行われることは、募集株式の発行の無効原因になる。

1. ア 2. イ 3. ウ 4. アイ 5. イウ 6. アウ

〔第12問〕（配点：5点）

下線部（C）に関連する次のア）からウ）までの各記述のうち、正しいものだけをすべて挙げたものは、後記1から6までのうちどれか。なお、ア）イ）ウ）それぞれの記述は独立しているものとせよ。（解答番号12の解答マーク欄にマークせよ）

- ア) 主要目的ルールによれば、会社においてその支配権につき争いがある場合に、従来の株主の持株比率に重大な影響を及ぼすような数の新株が発行され、それが第三者に割り当てられる場合、その新株発行が特定の株主の持株比率を低下させ現経営者の支配権を維持することを主要な目的としてされたものであるときは、その新株発行は不公正発行にあたる。
- イ) 判例によれば、募集株式の発行に関する事項の公示を欠くことは、募集株式の発行の差止請求をしたとしてもそれ以外に差止事由がない場合を除いて、新株発行の無効原因になる。
- ウ) 新株発行の不存在は、新株発行の不存在の訴えをもってのみ主張することができる。

1. ア 2. イ 3. ウ 4. アイ 5. イウ 6. アウ

Ⅲ. 次の問いに答えよ。

〔第13問〕（配点：5点）

投資単位の調整方法に関連する次のア) からウ) までの各記述のうち、正しいものだけをすべて挙げたものは、後記1から6までのうちどれか。なお、ア) イ) ウ) それぞれの記述は独立しているものとせよ。（解答番号13の解答マーク欄にマークせよ）

- ア) 会社が株式の分割をする場合、分割割合の限度で、株主総会決議によらずに、発行可能株式総数を増加する定款変更をすることができる。
- イ) 株式の併合によって投資単位は小さくなり、株式の流動性は高くなる。
- ウ) 会社法は、株式の併合について、差止請求の制度を定めている。

1. ア 2. イ 3. ウ 4. アイ 5. イウ 6. アウ

〔第14問〕（配点：5点）

単元株および自己株式に関連する次のア) からウ) までの各記述のうち、正しいものだけをすべて挙げたものは、後記1から6までのうちどれか。なお、ア) イ) ウ) それぞれの記述は独立しているものとせよ。（解答番号14の解答マーク欄にマークせよ）

- ア) 会社法は、公開会社については、1単元の株式の数の上限を定めていない。
- イ) 会社は、自己株式について議決権を有しない。
- ウ) 会社が自己株式を消却すれば、消却した株式数だけ、発行可能株式総数が減少する。

1. ア 2. イ 3. ウ 4. アイ 5. イウ 6. アウ

〔第15問〕（配点：5点）

自己株式の取得手続に関連する次の文章の空欄ア～ウに当てはまる語句の組み合わせとして最も適切なものは、後記1から6までのうちどれか。（解答番号15の解答マーク欄にマークせよ）

会社は、特定の株主との合意によって、自己株式の有償取得をすることができる。その場合、自己株式の取得についての授権は、株主総会の（ア）決議によってしなければならない。（イ）株主は、この決議の際に議決権を行使することはできない。当該特定の株主以外の株主は、（ウ）を請求することができる。

1. ア＝普通 イ＝当該特定の ウ＝特定の株主に自己をも加えること
2. ア＝普通 イ＝当該特定の株主以外の ウ＝特定の株主からの取得をやめること
3. ア＝普通 イ＝当該特定の ウ＝特定の株主からの取得をやめること
4. ア＝特別 イ＝当該特定の株主以外の ウ＝特定の株主からの取得をやめること
5. ア＝特別 イ＝当該特定の ウ＝特定の株主に自己をも加えること
6. ア＝特別 イ＝当該特定の株主以外の ウ＝特定の株主に自己をも加えること

〔第16問〕（配点：5点）

新株予約権に関連する次のア)からウ)までの各記述のうち、正しいものだけをすべて挙げたものは、後記1から6までのうちどれか。なお、ア)イ)ウ)それぞれの記述は独立しているものとせよ。（解答番号16の解答マーク欄にマークせよ）

- ア) 甲会社の新株予約権の行使期間が今日までであり、現在の甲会社の株価は当該新株予約権の行使価額よりも高いとする。当該新株予約権は、これを行行使するのが合理的である。
- イ) 乙会社の新株予約権は現在から3年間行使可能であり、現在の乙会社の株価は当該新株予約権の行使価額の70%の金額であるとする。このような新株予約権には、価値がない。
- ウ) 新株予約権無償割当てとは、株主に対して新たに払込みをさせないで当該会社の新株予約権の割当てをすることをいう。

1. ア
2. イ
3. ウ
4. アイ
5. イウ
6. アウ

〔第17問〕（配点：5点）

新株予約権の利用に関連する次のア) からウ) までの各記述のうち、正しいものだけをすべて挙げたものは、後記1から6までのうちどれか。なお、ア) イ) ウ) それぞれの記述は独立しているものとせよ。（解答番号17の解答マーク欄にマークせよ）

- ア) ライツ・オファリングとは、株主割当てで募集新株予約権を発行するときに、申込みをしない既存株主が不利益を被ることを避けられるよう、新株予約権無償割当てを利用するものをいう。
- イ) 募集新株予約権の発行の際に、募集新株予約権と引換えに金銭の払込みを要しないこととすることができる。
- ウ) 新株予約権付社債は、社債の発行手続によって発行される。

1. ア 2. イ 3. ウ 4. アイ 5. イウ 6. アウ

〔第18問〕（配点：5点）

社債に関連する次の文章の空欄ア～ウに当てはまる語句の組み合わせとして最も適切なものは、後記1から6までのうちどれか。（解答番号18の解答マーク欄にマークせよ）

会社は、社債を発行する際には、原則として、社債管理者を定め、社債権者のために、弁済の受領や債権の保全等を行うことを委託しなければならない。ただし、（ア）が1億円以上である場合には、この限りではない。また、会社は、社債管理者設置義務を負わない場合に限って、（イ）を設置することができる。社債権者集会は、社債の全部についてするその支払いの猶予等を決議することができる。社債権者集会の決議は、（ウ）を受けなければその効力を生じない。

- 1. ア＝各社債の金額 イ＝社債管理補助者 ウ＝取締役会の承認
- 2. ア＝各社債の金額 イ＝社債権者集会 ウ＝裁判所の認可
- 3. ア＝各社債の金額 イ＝社債管理補助者 ウ＝裁判所の認可
- 4. ア＝募集社債の総額 イ＝社債権者集会 ウ＝裁判所の認可
- 5. ア＝募集社債の総額 イ＝社債管理補助者 ウ＝取締役会の承認
- 6. ア＝募集社債の総額 イ＝社債権者集会 ウ＝取締役会の承認

〔第19問〕（配点：5点）

発起設立に関連する次のア) からウ) までの各記述のうち、正しいものだけをすべて挙げたものは、後記1から6までのうちどれか。なお、ア) イ) ウ) それぞれの記述は独立しているものとせよ。（解答番号19の解答マーク欄にマークせよ）

- ア) 発起人は、設立時発行株式の引受け後遅滞なく、その引き受けた設立時発行株式につき、その出資に係る金銭の全額を払い込み、またはその出資に係る金銭以外の財産の全部を給付しなければならない。
- イ) 発起人が設立時発行株式についての出資に係る金銭の払込みを仮装した場合、払込みを仮装した出資に係る金銭を改めて払い込む義務を負わない。
- ウ) 株式会社は、その成立した日から2週間以内に、その本店の所在地において、設立の登記をしなければならない。

1. ア 2. イ 3. ウ 4. アイ 5. イウ 6. アウ

〔第20問〕（配点：5点）

発起人の権限に関連する次のア) からウ) までの各記述のうち、正しいものだけをすべて挙げたものは、後記1から6までのうちどれか。なお、ア) イ) ウ) それぞれの記述は独立しているものとせよ。（解答番号20の解答マーク欄にマークせよ）

- ア) 判例によれば、設立費用について定款に記載し検査役の調査を受ければその効果は成立後の会社に帰属するのであり、相手方は成立後の会社に対して支払いを請求することができる。
- イ) 判例によれば、定款に記載のない財産引受けは会社に対して効力を生じず、これを会社が一方的に追認しても有効にはならない。
- ウ) 判例によれば、財産引受け以外の開業準備行為も、定款に記載し、検査役の調査を受ければ、成立後の会社にその効果が帰属する。

1. ア 2. イ 3. ウ 4. アイ 5. イウ 6. アウ

以上

[解答]

〔第1問〕 5 〔第2問〕 1 〔第3問〕 1 〔第4問〕 6 〔第5問〕 5
〔第6問〕 1 〔第7問〕 3 〔第8問〕 2 〔第9問〕 3 〔第10問〕 2
〔第11問〕 2 〔第12問〕 4 〔第13問〕 6 〔第14問〕 2 〔第15問〕 5
〔第16問〕 6 〔第17問〕 2 〔第18問〕 3 〔第19問〕 1 〔第20問〕 4